

令和5年度 第1回行政改革審議会 議事録要旨

日 時	令和5年8月21日（月）午後1時30分～3時30分	
場 所	市役所 災害対策本部室	
出席者	委 員	（会長）高松淳也、（副会長）赤木禎行、浦田真由、熊谷忠信、小山敦、斉藤直基、杉戸厚吉、寺田覚、山本美由湖
	事務局	副市長、企画部長、行革・政策監、経営情報課長、経営情報課長補佐、経営情報課デジタル推進室長、経営情報課（行革・経営係長、杉山、橋本、デジタル推進係長）
次 第	1 辞令交付 2 市民憲章唱和 3 市長あいさつ 4 自己紹介 5 会長の選任及び副会長の指名 6 会長あいさつ 7 議題 （1）第7次安城市行政改革大綱実績・進捗報告について ア 実績・進捗報告について イ 行政改革審議会の意見について （2）令和5年度外部評価及び外部評価対象事業について	

1 辞令交付

2 市民憲章唱和

3 市長あいさつ

4 自己紹介

5 会長の選任及び副会長の指名

6 会長あいさつ

7 議題

（1）第7次安城市行政改革大綱実績・進捗報告について

 ア 実績・進捗報告について

（事務局説明）

・委員

全体を見て感じるところは、こうしましょう、だからやってくださいねという感じがしました。例えば当社ですと、残業45時間超えの者に関して確認はしますが、どちらかという上司が残業に関して指示をします。だから上司は、部下がどういう残業をして、何のために残業をしなければいけないかということに基づ

本的には把握しているというのが原則です。安城市の場合ですと、45時間を超えるとメールが来て、それによって上司も45時間を超えたということがわかるという感じを受けました。おそらくいろいろ省略をして説明をされたと思いますが、そういうことを感じられましたので、意見として申し添えます。

- ・事務局（経営情報課長）

今ご意見がありましたように、45時間を超えると課長にメールが届きます。実際課長も現場を知らないわけではないものですから、そうした形で業務量を把握しつつ、改善も含め計画書を出す形で人事の方にも連絡しております。また良い案がございましたら、改善していきたいと考えております。人事課にもこういったご意見があったことを伝えていきたいと考えております。

- ・委員

是非ともお願いいたします。特に残業の偏在というか、この人はすごくできる人なので残業がめちゃくちゃ多いけども、こちらの方は少ないということがあった場合には、平均化も含めてご検討いただきたいと思います。

- ・会長

他にはありませんでしょうか。

- ・委員

重点項目（2）行革効果額の進捗が進んでいないということに関して、具体的な例としまして実施項目4にあります事務事業の最適化についてですが、昨年、町内会連協では公民館連絡協議会を廃止しました。同じような重複した会議、事業等がありまして、片方を廃止しようということで提案しましたが、すんなり受け入れていただきました。実は、町内会連絡協議会では30以上の協議会がありまして、それを8人の役員で回っています。はっきり言いますと、要らない協議会はたくさんあります。たくさん、と言うと言い方がおかしいですが、課によっては、一つは協議会がないと話し合うことが出来ないということだと思いますが、重なるようなものについては、どんどん廃止していただくような提案をされたらどうかと思います。何と言いますか、他の会議で兼ねられるような項目もあります。そういった理由で昨年廃止しましたが、今年も自分が出なくてもいいような会議があれば廃止したいと考えています。そうしたことを是非とも推進していただければと思います。

- ・事務局（経営情報課長）

今ご意見がありましたとおり、市役所の方も、事務事業の観点からスクラップ等をしていかなければいけない部分もございますので、そうしたご意見も踏まえながら常日頃から改善に向けて進めていきたいと思っております。

- ・委員

事前の質問の中でいくつか出しましたが、その中で全体に活動の評価をするための、まとめというか、サマリーシートをお願いしました。私たち審議会の委員が見る際には個別の案件だけ見るのではなく、全体の活動としてどうだったかという視点が非常に重要です。審議会のメンバーにとってもサマリーシートは大事だと思いますし、安城市で活動をしている方自身にとっても、自分達の1年間の活動の結果がどうだったのか、全体としてどこが出来ていてどこが出来ていないのか、出来ていないことに対して新たにどういう改善策をやるのかというようなことが、サマリーシートをまとめることによって分かると思います。だからそういう意味では、今回説明いただいた個別についての話だけではなく、今申し上げたようなサマリー、全体としてどうだったかという説明があると非常にわかりやすいと思っております。

- ・事務局

ご指摘いただきましたサマリーシートですが、委員から事前にご質問、ご意見をいただきました。本日説明がありませんでしたので大変申し訳ありませんでした。今回作らせていただきましたものが、机上に配布した資料の中の別紙5でございます。

- ・委員

今日ご説明いただくと、委員の方に活動の総括がわかると思っております。

- ・事務局

説明させていただきたいと思っております。こちらが総括表になります。左上に表がございます、3つ書かれています。目標達成に向けて順調に進んでいるものが6、進捗が遅れているというのは、毎年度の目標にした時に目標を達成できてない指標のものが、遅れているというものになります。最後が、前年度の実績が低下しているものが4ということです。全体的に言いますと、12のうち半数の6

が順調に進んでいる、遅れているのが6でございます。順調に進んでいるものが晴れマーク、遅れているものが曇りマーク、実績が悪くなっているものが雨マークとしています。右側の表を見ていただくと、経営資源の最大活用の重点項目が全体的に雨マークの指標が多いということで、こちらが進んでいない重点目標となります。逆に、健全財政の維持や行政のデジタル化については晴れマークや曇りマークが多くなっていますので、全体から見ると、経営資源の最大活用が進んでいないという進捗状況となります。

- ・ 委員

全般的には晴れマークが半分ということで、順調に活動を進められているかと思えます。事前にご提案した中にもありますが、目標の年度が4年後ということで、長い期間の中でこういう活動をやる時には、K P I 指標は今までも設定されていると思えますが、その途中の年度毎の達成すべき目標といえますか、年度毎にK P I をしっかり置いて、それに対して活動のP D C Aを年度毎でしっかり具体的に回していくと、もっと活動が進捗していくと思えますので参考にして下さい。

- ・ 事務局（経営情報課長）

ご指摘の通り、今年度が初年度でございますが、P D C Aのサイクルも確実に目標設定も含めて改善をしていきたいと思っております。またご意見等ございましたら反映させていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

- ・ 会長

他によろしいでしょうか。

- ・ 委員

事前に質問をさせていただければよかったかもしれませんが、一つ質問させていただきます。重点目標の経営資源の最大活用の指標は雨マークという説明がありましたが、その中で働きやすい職場環境づくり、職員満足度調査、この中の不満層というのは何を以て不満層かということと、それからK P I に5%と設定している根拠といえますか、理由をご教示いただければと思います。

- ・ 事務局

私ども経営情報課としまして、毎年度全職員に対するアンケートとして、満足

度調査というアンケートを実施しています。その中の設問で、あなたは総合的に考えて現在の仕事、職場、組織にどの程度満足していますかという設問がございます。回答項目は満足、やや満足、普通、やや不満、不満という5択になっておりまして、その中でやや不満、不満という回答数が全体の中で何%あるかということで、総合満足度の不満層を見ています。なぜ5%以下という設定にしたかという点でございますが、R2年度の11.7%が1番直近の数値となります。明確な数値の根拠はないですが、その数値を踏まえて、5年後であれば5%以下にできるのではないかとということで、直近の11.7%を参考に5年度の目標値を設定しております。

- ・ 委員

私の方から一点お願いします。先ほどのご説明の中に、令和4年度の主な取組内容の中に、業務スクラップに関する提案を全職員に募集したところ、204件の応募があり、そのうち40件から10件を重点項目として検討されたということですが、どのような基準でそれらを不採用にしたのか、この204件の中に隠れている予備軍といいますか、まだまだ検討の余地が残っているものがあるのか、どうなのでしょう。

- ・ 事務局

204件のうち実施するのが40件ということではなくて、40件というのは、一次審査を通過して課長が承認したものといたしますか、審査したものになります。40件については、私どもとしても確実にスクラップを進めてもらいたいということで進捗管理をしています。40件から漏れてしまった提案であっても、中にはやれるもの、やれているものもあると思いますが、確実にやっていただくのはこちらの40件、進捗管理していくのが40件ということでございます。隠れている中にもスクラップが出来ているものや良い提案もあるのかもしれませんが、ただ、申し訳ありませんが、今ここで具体例がすぐには出てこない状況でございます。

- ・ 委員

他にはございませんでしょうか。

- ・ 委員

安城市で自主財源の確保、ふるさと納税における寄附金額が3億円という目標

になっておりますけど、これはどういう積み上げで3億円に決められたのでしょうか。それと、他の市では100億円も稼ぐような市町村がございます。これに専念してやっているような部署はあるのでしょうか。

- ・事務局

まず3億円の根拠でございますが、こちらも同様に、安城市のふるさと納税の直近の寄附金額受入金額が1億円でしたので、5年後には3億円を目指そうということでございます。この3億円も正直かなりハードルが高い目標でございますが、なぜ目標値をこの3億円にしたかという、直近の数値を参考に積み上げて3億円にしております。

専門の部署はないかというご質問ですが、安城市では健幸＝SDGs課の中の公民連携係というところがふるさと納税に取り組んでおります。ただ、この公民連携係は、ふるさと納税だけをやっているのではなくて、公民連携の取組として指定管理の取組ですとかいろいろな取組をやっていますので、専門の部署だと言われますと、今はない状況でございます。

- ・委員

今後、安城市の税収が少なくなっていく中で、ここに力を入れていていただいた方が良くと思いますので、ぜひ取り組んでいただければと思います。

- ・委員

他にはいかがでしょうか。

- ・委員

デジタルのところで気になるのですが、コピー枚数のところが雨マークになっています。コピー枚数だけに目を向けるのは違うように感じていまして、今日の会議でも非常に多くの紙をいただいております。もう少し日々の業務の進め方についても見直していく必要があるのかなと思っています。別紙2の8番に、チャットツールの利活用の促進という言葉がありますが、チャットベースでやり取りをするようになると、資料類が電子化されて、そこで共有して確認してもらってOKをもらうとか、そういう利用の仕方とかになるのかなと思いますので、単純に会議を開くときにペーパーレスにしないという話ではなく進められるといいかなと思います。やっぱり紙の良さはあって、こうやって一覧で見て、検討するときは、やっぱり紙であるべきかと思っていますので、その辺りも含めて業務の仕方に

についても見ていただけると良いと思います。

- ・事務局（経営情報課長）

ペーパーレスにつきましても、私どもも課題として認識しております。ペーパーレスに繋がっていく取組になっているかどうか分かりませんが、チャットツールにつきましても、職員間のロゴチャットでのやり取りを含めて、会議の事前に資料を配布するといったことをやっているところがございます。業務の進め方も含めて検討してまいりたいと思います。

- ・委員

質問になるかもしれませんが、重点目標「健全財政の維持」の6番で、民間事業者の知見を活かした取組の推進とありますが、目標値が20件、実績値が8件とあります。この民間事業者の連携というのは、ここにあるように実証事業等がここに入ると思いますが、他にも事業の包括連携ですとか、例えばICTの様々な事業の中で民間技術を新しく導入して業務の効率化を図ったりですとか、民間との連携の事例はいろんなパターンがあると思いますが、20件と8件というのは、どういうものを民間連携として定義してカウントしたのか教えてください。それから、民間連携事業を進めていく上で、今後窓口を設けたりですとか、民間の提案を募集したりですとか、継続的に民間提案を呼び込むようなことは何か考えていますか。

- ・事務局

まず一点目のご質問はこの指標の立て方といいますか、どういったものを対象にしているかということでございますが、行革大綱を一昨年作っていただいた際には、そこまで細かい内容まで決まっていなかった状況だったと聞いています。おっしゃるとおり民間企業との連携といいますと、様々な部署で民間事業者と連携している状況ではありますが、安城市では健幸＝SDGs課の公民連携係という係が公民連携の取組を進めていく部署となっております。こちらの8件としたものについては、公民連携係が取組を進めている実証事業であったりだとか、公民連携係が管理している特設のウェブサイトに掲載している民間事業者と連携した取組をカウントして8件としています。

2つ目の質問でございますが、そういった窓口があるかどうかということですが、健幸＝SDGs課公民連携係という係が民間事業者と連携する際の最初の窓口といいますか、総合的な窓口の役割を担って進めているところがございます。

- ・ 委員

その窓口は、テーマは関係なく常時、民間提案を受け入れる体制になっているということでしょうか。

- ・ 事務局（経営情報課長）

組織体制につきましては、先ほど申しあげました公民連携係が受け入れる体制とする組織の編成をしております。

- ・ 会長

他にご意見はございませんでしょうか。ないようでしたら、続きまして、イ行政改革審議会の意見について説明をお願いします。

(1) 第7次安城市行政改革大綱実績・進捗報告について

イ 行政改革審議会の意見について

(事務局説明)

- ・ 会長

少し事務局に伺いたいのですが、この意見というのは、どのくらい具体的というか、どのくらい抽象的というか、どういったところを目指していますか。

- ・ 事務局

もっと具体的なものでも、もっと抽象的なものでも、特にこうでなくてはいけないというものがあるわけではありませんので、率直にこうした意見を加えた方がいいのではないかとすとか、先ほどの時間の中でかなり様々なご意見いただきましたので、それを踏まえてもう少しこれを入れてもいいのではないかとといったご意見がありましたら、ご意見いただければと思います。

- ・ 委員

追加でお伺いしたいのですが、こちらをまとめたものは今後どうされるのでしょうか。

- ・ 事務局

まとめさせていただいたものを踏まえ、市長から今後の指示をいただく運びになっています。また、市長からの指示を踏まえて、職員が今年度しなければならぬ取組を事務局が中心になって、反映していきたいと思います。また、いただいたご意見や市長からの指示は、ホームページで公表していきたいと考えています。

(行政改革審議会による意見作成)

・委員

ここにありますように、経営資源の最大活用というのが大きな課題になっていますが、行政課題というのは年々増えていますので、仕事量が減るということは有り得ないわけです。その年々増える仕事量の中で勤務時間をどれだけ減らしていくのかというところで、一つはICTによる業務の効率化です。もう一つは、これまでやっていた業務の中で無駄な業務を、必要性に応じてどう削減していくのか。完全に必要性がないという業務だけではなくて、必要性が低いものも含めてどれだけ削減していくかという話と、行政がやるべき話と民間にやってもらう部分、いわゆる民間連携です。そうしたICT以外にも、今申し上げたような視点も重要だと思います。それから、先程お話の中で、全庁的な業務の見直しをするという話がありましたが、市長からのお話にもありましたように、ICTの活用とか、業務の見直し、民間連携というのは、担当部門だけの話ではなく全庁的にそういう意識を持って業務を見直していく必要があると思います。業務の見直しに当たっては、そういった意識を持って全庁的な業務の見直しを徹底するというニュアンスの表現を少し入れてもいいのではないかと思います。以上です。

・会長

それでは、行政改革審議会の実績進捗報告についての意見ですが、3点という形で提出したいと思います。よろしく願いいたします。

(2) 令和5年度外部評価及び外部評価対象事業について

(事務局説明)

・委員

6ページのところで、評価区分ですが、こちらは昨年と同様でしょうか。

- ・事務局

昨年度と全く同様でございます。

- ・委員

昨年度、要改善と拡充が付けにくかった印象があります。要改善というのは、結構悪い方のイメージが言葉にあります。取組としては良い取組で、さらにこうすると良いといったイメージの位置付けなのか、改善するということなので、現行のものをもっと良くするというか、現行があまりうまくいっていないので、変えないといけないという内容なのかと迷う時がありましたので、位置付けがこう、というのが明確にあるようでしたら、それを教えていただければと思います。

- ・事務局

ありがとうございます。要改善でございますが、やり方の改善、現状の取組が良いものであっても悪いものであっても、予算や人員等を拡大することなく、現状のやり方を変えた方がいいのではないかとといったものが要改善でございます。現行どおりは、人員も方法も現行のままというイメージでございますので、純粋にやり方や方法の改善等の場合は、要改善を選んでいただければと思います。

- ・委員

あともう一点ですが、今後資料を送っていただいて、それを読み込んで回答するということになると思いますが、資料の書き方とか、内容とか、添付があるものについては読み取れるものと、なんかよくわからないまま評価しないといけないものがあります。今日の審議会の後、シート自体への意見がまずあるのでしょうか。

- ・事務局

今月の終わりから9月の初めにかけて事業評価シートという、各事業の概要や実績、事業費、成果指標、活動指標、課題等をまとめた1枚のペーパーと、実際にチラシですとか、今回は市民課の届出用紙ですとか、実際の資料等を併せてお送りします。シートだけではなく、添付資料も合わせてご覧いただければと思います。

- ・ 委員

なるべく伝わる工夫をしていただけるといいかなと思っています。

- ・ 副会長

今の質問に関連しますが、資料として、内部評価をされた結果はいただけるのでしょうか。こういうことをやっていますという概要の資料だけでは、先程のご意見のとおり、評価をするのは非常に難しいのではないかなと思います。一方で、内部ではこういう評価をしています、それに対してどうでしょうかと評価する方が、委員としてはわかりやすいのではないかなと思います。

- ・ 事務局（経営情報課長）

事務事業調書等についての資料はございます。課題は載っておりますが、その評価までというところ、自己評価ですので、果たしてそれが良い評価なのか悪い評価なのかは定かではないです。公表している資料でございますので、そうした資料も含めまして、評価していただけるよう、参考資料をご提供していく予定でございます。

- ・ 委員

対象事業の一覧表を見まして、5事業ありますが、結婚記念品贈呈事業ですと目的達成による記念品の必要性とか、研修の受講生が少ないとか、啓発が難しいとか、申込者の増加で対応が困難とか、事業費や職員が不足ということですが、この対象事業というのは審議会で廃止したいために挙げているのでしょうか。それとも、縮小とか、どういったニュアンスになるのかなと考えているのですが、是非やってほしいという風には見えません。それを今後評価していくということだと思いますが、これを見る限り、廃止したいような感じには見えませんが、いかがでしょうか。

- ・ 事務局

廃止というものばかりではなく、実際に今後この事業を進めていく上で、行政職員では行き詰っているといいですか、行政職員ではアイデア等々が出ないことも多いものから、幅広くご意見を伺いたいという趣旨で実施しております。ですので、今回課題を書いておりますが、こうした課題を抱える中でも、事業を進めていくということが前提でございます。評価項目に廃止が入っておりますが、

必ずしも廃止を望んでいるわけではないということになります。

- ・委員

一つ意見ですが、アグリライフ支援事業の課題を見ますと、場所が限られていて、申込者への対応困難ということですが、実は安城市の町内会には耕作していない空き地がいっぱいあります。町内会も対応に困ってしまして、草刈りを地主にお願いに行ったりしています。誰か管理して欲しいという耕作地が沢山あります。是非そういったものを利用されるといいのではないかなと思います。うちの町内会にも二つありますが、誰かに耕して欲しいと思っております。そういった観点でのお話でよろしいでしょうか。

- ・事務局

事前質問にはそうしたご趣旨のご意見をいただければと思いますし、当日は担当課も出席しますので、ご意見を直接仰っていただければ結構でございます。

- ・会長

昨年度までのイメージでは、単純にこの拡充、要改善、現行どおり、縮小、廃止というA B C Dといった評価点を付けたいというよりは、廃止すれば良いという事業は別ですが、上手く続けてやるためには具体的にどうしたらいいですか、みたいなことを書いていて、教えて欲しいということが担当課にニーズがあるようです。ですので、寧ろそういうことについて、もちろんこちらはアイデアを投げただけかもしれませんが、具体的にこういうことやるというのではないかなというようなことも合わせてご意見いただけると、単純にA B C Dを付けるよりは建設的になるかなと思います。

- ・委員

事前にいただいたあの資料を見ますと、昨年度のいわゆる外部評価の事業というのは10事業をあって、今年度については5事業ということですが、昨年度評価を受けたものは要改善等々で意見がまとまっていると思いますが、この改善状況については、この後議論をしたり、報告をする場というものはあるのでしょうか。

- ・事務局

審議会としてはご報告する機会を設けていないのですが、昨年度、一昨年度に評価したものにつきましては、ウェブサイトで進捗状況ということで、毎年公表

しております。改善に至ったものにつきましては、どのように要改善に至っているか3年間のロードマップを作りまして、管理しております。もし宜しければそちらのほうをご覧いただければと思います。

- ・ 委員

では今回のご事業についても同様に事後報告があるという形ですね。

- ・ 事務局

そのとおりでございます。

- ・ 会長

月末に資料を送りますので、なるべくいろいろ意見は事前にいただいた方が担当課も準備がしやすいと思います。もちろん当日にご意見いただくことも可能ですが、事前にご意見をいただいた方が担当課の準備がより充実すると思いますので、お忙しいところ申し訳ございませんが、よろしく願いいたします。それでは外部評価につきましては、これで終了ということをさせていただきます。

以上で、本日の議題は終了となります。ご協力ありがとうございました。